

スペシャルオリンピックスは、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。ここ富山でもSOが活動しています。現在約140名のアスリート会員が8つの競技種目に取り組んでいます。



10月12日(日)、SOデーで松木安太郎講師(現サッカー解説者:中央黒ジャージ)による講習会が開催されました

## 今季のエッセイ

### スペシャルオリンピックスとディビジョニング

この夏に開催された北京オリンピックでの日本の活躍には大変興奮させられました。特にソフトボールにおける激戦の中での上野選手。怪我を押しての完投。あの勇姿にパワーと感動をいっぱいもらいました。

さて、日頃から皆様のご協力の下に活動を続けているスペシャルオリンピックス(SO)ですが、SOとパラリンピックを混同して認識されている方が多いようです。パラリンピックはオリンピックと同様、世界のトップアスリートが予選を勝ち抜いて一定の条件を満たすことによって出場できる国際競技であり、世界ランキングの上位者が参加する競技会です。一方SOは、スポーツプログラムを基盤とした活動とその成果を発表する競技会を継続的に提供する活動です。SOとパラリンピックとの違いについては、SOのディビジョニングの説明をすることで理解してもらっています。ディビジョニングとは、性別・年齢・競技能力などによってグループ分けを行うことで、競技能力が同程度の

### 運営委員長 清水 和夫

アスリート同士が競い合うSO独自のルールです。SOの予選の方法は、トップアスリートを選出するものではなく、予選に参加したアスリート全員が決勝に進むためのものとなっています。このルールのおかげで、富山のアスリートは昨年の「夏季世界大会・上海」、そして来年の「冬季世界大会・アイダホ」と日本選手団に参加し活躍の場を世界へと広げています。

発足当初は、何もかも分からないことばかりで進んできた富山の活動も、はや5年を迎えることができました。これも皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しています。私自身としては、アスリートとプログラムや競技会、その他の事業と一緒に参加することで、アスリートからもらうパワーと感動のおかげで続けていくことができました。今後も、地区での活動を基盤としてより多くの方々にSOを理解していただき、ますます元気で楽しい活動としていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

## バスケ、SON・長野の競技会に参加

9月7日(日) SON・富山のバスケットボールプログラムのアスリートたちは、SON 長野設立 10 周年記念 2008 年第 2 回スペシャルオリックス日本・長野夏季地区大会に参加しました。バスケットボール競技には、SON・長野から 2 チーム、愛知と富山から 1 チームずつと、合わせて 4 チームでの競技となり、富山は個人競技に 2 名、チーム競技に 8 名の参加でした。



富山でプログラムがスタートして 2 年目、初めての県外大会。アスリートたちも緊張気味で挑みました。最初のディビジョニングゲームでなんと長野のチームに勝利。応援するファミリーも盛り上がりました。決勝では残念ながら負けてしまいましたが、みんなとても充実した顔をしていました。個人競技で金メダルと銅メダル、チーム競技では銀メダルでした。表彰台に誇らしげに立っていたアスリートたちの笑顔がとてもまぶしかったです。



## ボウリングは、名古屋市でブロック競技会に参加

2008 年 11 月 1~2 日、第 1 回スペシャルオリックス日本東海・北信越ブロックボウリング競技会が名古屋市で開催されました。富山からは 17 人のアスリートが参加。午前 7 時に富山を出発し、いつものようにバス 2 台にファミリーと分かれて乗車。1 日目は開会式と予選、2 日目に決勝でした。



ピンが倒れていたりボールが戻ってこなかったりトラブルもありましたが、調子のよいウッドレーンのボウリング場でした。5 名のアスリートが予選でいつも以上の力を発揮して、ディビジョンがアップしました。

表彰式ではバックでハンドベルが演奏されたり、閉会式では高校生のマーチングバンドとチアリーディングのアトラクションがあったり、内容もとても充実した遠征でした。

誰も失格者がなく、全員が笑顔で表彰台に上がったのが何よりでした。これまでは、県外での大会ではコーチ陣は睡眠不足が課題でしたが、今回はアスリートも落ち着いていて、少しだけ眠ることができたかなあ。(コーチ)



## 最近のイベント

### 9月27日(土) 陸上競技会 & 講習会を開催しました

9月27日(土)、高岡市城光寺陸上競技場で、秋晴れの空の下、2008年スペシャルオリンピックス日本・富山陸上競技会世界大会選手育成・強化講習会が開催されました。

午前中は、開会式のあと、SON・富山の陸上競技プログラムの競技会として SON・石川のアスリートが参加し、

午後からは、マラソンの浅利純子さんを講師にお迎えして、アスリートとコーチに向けた技術講習会でした。

この一日の様子は、地元TV・新聞に大きく取り上げられ、富山でまたひとつ、スペシャルオリンピックスの輪を広げることができました。



浅利さんと一緒に2000mを走りました

### スペシャルオリンピックス日本・富山SOデー

2009年2月にアイダホで開催される、2009年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・アイダホに、スペシャルオリンピックス日本・富山から3人のアスリートと2人のコーチが出場します。これを記念して、また支援するため、2008年10月12日(日)、富山市にある富山県総合運動公園で、毎年、SON・富山が開催しているイベント“SOデー”の一環として、“トーチラン in 富山”と“世界大会育成・強化講習会(表紙写真)”が開催されました。



3人のアスリートと2人のコーチが紹介されました



## ★アスリートとともに

本来は、隔週で回数の限られたプログラムの中だけで上達することは難しいはずなのですが、アスリートの皆さんの成長ぶりには本当に驚かされます。ミニバス、中学・高校、大学、そしてbjと長くバスケットに関わってきましたが、こんなに短期間で選手が成長する姿を見たのは初めてです。これは、アスリートの皆さんが一生懸命に努力された結果です。

9月28日(日)の競技会では、出席されたアスリート全員が一人も欠けることなく試合のコートに立つことができました。目標であった「全員参加」が達成できたの

## バスケットボールコーチ 中野 悟

です。今までで一番素晴らしい試合も見せていただきました。これもコーチ、ボランティア、ファミリーの皆様が熱心にサポートを下さったおかげです。本当にありがとうございました。



私は、このような素晴らしい事業に関わらせていただいたことに本当に感謝しています。まだ2年目ですので、アスリートはこれからもどんどん成長していくことでしょう。皆様、今後も彼らの活躍にご期待ください。

## ★スペシャルオリンピックスへの関わり

私が初めてスペシャルオリンピックスを知ったのは、高校1年だった4年前、富山市で行われたトーチランに参加したときでした。障害者の方との活動も、このときが初めてでした。それがキッカケでS0に興味を持つようになり、その後、八尾の「ひまわりの郷」という通所施設でのボランティアで、あるアスリートとファミリーと出会いました。そこからまた深くS0に関わるようになって、昨年アルペンスキープログラムに参加しました。

私は知的発達障害の人たちがスポーツをすることに対して、ある種の疑問を持っていました。それは、「この人たちは何か目的を持っているのか。つまらなそうに練習している人もいるが何を達成しようとしているのか?」といったものでした。しかし、S0を通して多くの人と出会い、アスリートと互いに成長し合うといったことで、私の中でも何らかの変化

## ボランティア 渡辺 涼

がありました。

あるとき、彼らの様子が、実は私たち誰もが感じることに同じなのではないかと思えたのです。例えば、「運動は好きだけど、基礎練習は嫌い」といったことを、アスリートも感じていたのではないかと私は障害者を特別視していたようです。もしかすると、多くの人がそういったことを感じていたかもしれないと思うのですが、私は、S0と関わることで、彼らも私たちと同じで、とても純粋な気持ちを持つ人たちのだなど感じるようになったのです。



私は就職活動や卒業研究のために、今年の夏は、あまり関われませんでした。今後は、もっともっというんな人たちと関わっていきたいと思っています。

## ★陸上競技のコーチとして3年間

親子で陸上プログラムに参加して3年になります。陸上は個人競技ではありますが、「みんなで一緒に身体を思いきり動かすことの楽しさ」が、アスリートに伝わればと思っています。そのためには「安全面」も重要で、特に練習会場の中に別の団体が多い日は、他の利用者の妨害や接触事故が起こらないよう配慮しています。

時にはアスリートを必死に追いかけることもあります。準備体操やストレッチはアスリートを指導しながらになるため、プログラム開始前にしておくべきだと3年目にして実感しています。コーチとして心がけていることは、「一人ひとりの頑張りを認めること」です。小学生アスリートが社会人や高校生ア

## 陸上競技コーチ 松村亜由美(ファミリー)

スリートと同じメニューをこなしている、スキップがうまくできた、体操やストレッチの流れを覚えられるようになったなど、それぞれの「頑張り」を認めてほめることが自信につながります。



注意するときには悩むこともあります。アスリートには、それぞれこだわりがあり、性格も違うため、ファミリーとの情報交換は重要だと思います。お互いに感謝の気持ちを忘れずに来年も参加できればと思います。

## ★♡ スペシャル・オリンピックス初参加 ♡

はじめまして。今年度より参加させていただきました。息子は富山市内にある公立中学校の3年生。発達支援級に在籍しています。自閉症の彼は、なかなか積極的には外へ出られません。高校を卒業すれば、学校の部活動も終了です。その点、S0は学校卒業後も続けられますし、彼の人生が少しでも楽しく豊かになればとの親の切なる願いが参加のきっかけでした。

卓球とバスケットと二つのプログラムに参加して、特に、卓球は超初心者でしたが、サーブを覚えてラリーができるまでに上手になりました。競技ルールも最初から併せて教えてくださり、競技会では試合

## ファミリー 福島 朝子

にもチャレンジできました。結果は負けでしたが、普段はあまり感情を表に出さない我が子が思いっきり悔しがり、新たな一面を発見して母は少々驚きました。



卓球にはファミリー全体が参加していて、母も翌日の筋肉痛を危ぶみつつ一緒に体育館で活動しました。参加されている方々とも触れ合うことができ、親子ともどもとても楽しい時間を過ごせました。新しく世界が広がった嬉しさがあり、来季もぜひ続けたいと思います。ありがとうございました。

ワールドゲームとナショナルゲーム

通常のオリンピックと同じで、スペシャルオリンピックスでも、4年に一度の夏季と冬季のワールドゲーム(世界大会)が開催されます。どちらのワールドゲームも開催されない年に、国内では、同じように4年毎に夏季と冬季のナショナルゲーム(いわゆる全

国大会)が開催されます。このようにして、毎年、世界のどこかで、日本のどこかで、大きな大会が開催されているのです。来年の春は、アイダホで冬季世界来会、再来年は大阪で夏季全国大会です。

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
世界		アラスカ		ダブリン		長野		上海		アイダホ	
日本	長野		東京		長野		熊本		山形		大阪

「ふらっと」の一日

早朝から「ふらっと」の畑に水をやり、草むしりに精を出す。朝からハイテンションの彼女、ぶつぶつ独り言の彼。赤ちゃんやばあちゃんもやってきて「DASH」に行き自分たちのお昼を作り、時には絵をなぐり描き。ものづくり、そして近所を歩いて人づくり。



放課後は「ふらっと」で、そして街の中で、子ども達が遊ぶ。仕事が終わったら「ふらっと」で晩ご飯。みなさんの一人ひとり、一つひとつの営

NPO 法人ふらっと代表 宮袋 季美

みに寄り添って「ふらっと」は9年目の秋です。でも今は、改修工事の真っ最中で、予約を受けるのも至難の業ですが・・・(すいませんです)。12月23日の恒例もちつき会には完成しているでしょう。ぜひ覗いてみてください。ちなみに、「DASH」は台所の壁がガラスになって、めっちゃ明るく、そして怪しくなっています。またバージョンアップして「社会の中におりましょう」を発信していきますね。これからも、「ごった煮ワールド」をもっともっと育ててやってください。

キャッチフレーズは 富山型デイサービスの異端児  
 ・多機能型(生活介護・自立(生活)訓練)  
 ・児童デイサービス  
 ・福祉有償運送  
 ・指定相談支援  
 ・富山県単デイケア  
 ・通所介護  
 ・子育てつどいの広場  
 ・地域活動支援センター(日中一時・移動支援)  
 いろいろありますが、お住まいの市町村によって利用できるサービスが違いますので、まずは直接お問い合わせください。よろしくお願ひします。

ふらっと

射水市太閤町4番地 Tel&Fax 0766-56-6661

DASH

高岡市下麻生伸町859-23 Tel&Fax 0766-36-8515

えきちかコロッケ「えいぶる」

えきちかコロッケ「えいぶる」は、就労継続支援A型事業所として、今年の7月8日にオープンしました。NPO法人えいぶるが運営しています。現在は3名のメイトが、じゃがいもの皮をむいたり、出来上がったコロッケのパック詰めをしたり、店頭で接客をしたりして働いています。

「障害があっても社会の一員として力を発揮した

い！」 そんな彼らの一生懸命な姿を目にして、お客様からも温かい言葉をかけていただいています。ホッカホカのコロッケを食べれば心も暖まりますよー。高岡駅前の階段を降りてすぐ右にありますので、皆様、おいでくださいね^^



〒939-0021  
 高岡市下関町6番1号  
 えきちかコロッケ「えいぶる」  
 TEL & FAX (08766) 28-0722

アスリート作品集（第3回）

学校や自宅で作ったもの、職場で作った作品。どれも、みんなアスリートによる創作です。今回も2008年プログラム参加者のものを紹介します。

ドラえもんズ(寺島知駿 中1)

小学3年生の頃の作品です。この頃はドラえもんがマイブームで毎日描いていました。ドラえもんズが合体した、最強の姿を描きました



夜明けの虹風

岩白翔太

人は何かを得ようとすると人は争つ  
人は何故に欲望と言う落とし穴にはま  
つてしまうのかそんな暗い世の中は希  
望と言う光で明るい世の中を夢見てい  
れば、いずれは風が幸せを運んで来る  
日を願って生きて行こう。

人の心は大自然のように複雑 特にこ  
の世の中の人達は人を人とも思わない  
悪の心に満ち溢れた人達は氷のように  
冷たい

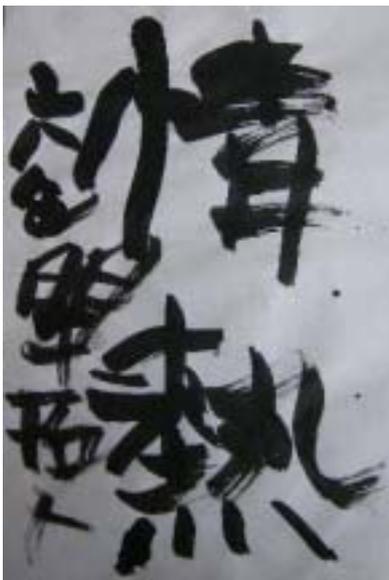
願わくば氷のような冷たい心を持つ人  
達はこれから絶望ではなく 希望を持  
つて明るい未来に翼を広げ

暗い心は夜 そんな暗い心にも夜明け  
の虹色に輝く風が吹きますように

詩(岩白翔太)

花鳥風月(村中洋介)

今夏のアートフェスタ八尾の会  
場に飾った作品です



書(開拓人)

情熱の男、拓人が  
心を込めて書きま  
した

切り絵コースター(林知佳)

寄宿舎の先生から教わって、はまったみ  
たいです。休み時間に黙々と作って、い  
まも学校中に張ってあるそうです

「パイナップル・トマト・くり」  
(尾山弘隆)

学習発表会での作品です



### スペシャルオリンピックスのスポーツトレーニングプログラム

アスリートは、「コーチと一緒に、できなかったことが少しでもできるように」、また、「できることが、さらに上手にできるように」を目標にしながら、スポーツトレーニングプログラムに参加しています。

その中で、アスリートやコーチにスポーツの持つ様々な楽しさを感じてもらうことがスペシャルオリンピックス(SO)の願いでもあります。トレーニングに繰り返し取り組むことで、アスリートは確実に目標を達成し、上達していきます。上達のステップは、アスリート一人ひとり違いますし、目標もそれぞれです。

スポーツに関することはもちろん、トレーニングのある

日に家を出て会場までやってくることや、会場の様子に慣れること、共に活動する人たちと仲良くなることも大切な目標です。

また、目標は、スポーツをすることから、コーチや審判になること、競技運営のスタッフになることなどへも広がっていきます。これらは、アスリートだけではなく、その家族の目標にもなるものです。一人ひとりが目標を達成し、その成果を発表する競技会や発表会の場で、コーチの手を借りないで自分の力を発揮できるようになることが、スポーツトレーニングプログラムの大きな目的と言えます。

### スペシャルオリンピックス競技会の特徴

SOの競技会は、日常のトレーニングの成果を発表する機会として開かれます。トレーニングとは違い、コーチの助けを借りることなく、不安や緊張と戦いながら自分ができるようになったこと、全てを発揮する挑戦の場なのです。

それは、実はアスリートだけの問題ではありません。

コーチ・ファミリー、ボランティアなどSOにかかわる全ての人にとっても同じ、大切な発表の場なのです。競技会は自分自身を認め、次なる目標を見つける場でもあるのです。その他にも、SOをより多くの人に知ってもらうことや、たくさんのボランティアとの交流も大切な目的と言えます。

## 2009年 冬季プログラム スケジュール

種目	フロアホッケー		アルペンスキー	備考
	富山会場	高岡会場		
会場	富山市立柳町小学校	高岡市立福岡小学校	極楽坂スキー場	
12月	20日 土		スキー用具調整会	会場:富山市障害者福祉プラザ
1月	4日 日			
	10日 土			
	11日 日		14:00~16:00	
	17日 土	9:30~11:30		
	18日 日		10:00~15:00	
	24日 土	9:30~11:30		
	25日 日		14:00~16:00	10:00~15:00
2月	31日 土			
	1日 日			
	7日 土	9:30~11:30		
	8日 日		14:00~16:00	
	14日 土			
	15日 日		14:00~16:00	
	21日 土	9:30~11:30		10:00~15:00
3月	22日 日		14:00~16:00	
	28日 土	9:30~11:30		
	1日 日			10:00~15:00
	7日 土	9:30~11:30		
	8日 日		14:00~16:00	13:00~15:00
	14日 土	9:30~11:30		
	15日 日		14:00~16:00	
	21日 土	9:30~11:30		
	22日 日		14:00~16:00	
	21日 土			
4月	22日 日			
	28日 土			
	29日 日	9:00~12:00		【合同競技会】
	4日 土			
5日 日				

スケジュールは変更になることがあります。最新情報は、ホームページで確認ください。

## SON・富山の活動の進め方

S0の活動は、健全の子たちが入って活動する民営のスポーツクラブなどとは違います。私たちの活動は全て、運営委員を中心にボランティアで進められています。会費を取ってコーチや事務員に給料を払って運営しているものではありません。そして大切なことは、そのボランティア活動の中にも多くの「ファミリー」が活躍しているということです。

子供を会場に連れてきてすぐさま引き返し、時間に

なったら迎えに来る。あるいは、会場にいたとしても、ただ見ているだけ…。ご覧になって分かると思いますが、SON・富山では、まだまだ会場内の人的手当てが十分ではありません。いつもは帰ってしまうファミリーの皆さん、一度ジャージを履いて会場に入ってみてください。きっと、新しい世界が開けますよ。「自分も、この活動を支えている一人なんだ！」と。

## 富山での活動も5年になります

ここ富山でS0が活動を始めたのは、2003年3月8日、大島町農業改善センターで社団法人射水青年会議所が主催した2003年度3月例会に招聘された細川佳代子SON理事長(当時)の「ともに生きる福祉の社会」と題する講演がきっかけでした。この講演を聴いて感銘を受けた吉田(現事務局長)、清水(現運営委員長)、村中(現財務副委員長)ら青年会議所のメンバーや澤田(現SP委員長)らのファミリー有志が立ちあがりました。

石川県にコーチクリニックを受けに行くなどして、2003年9月にSON・富山設立準備委員会が発足しましたが、競技種目はフロアホッケーだけでアスリートも

20人弱でした。2005年11月5日、細川(当時)理事長をお迎えして、いまの形(SON・富山という地区組織)としての認証を受けました。いまでは8種の競技に約140人のアスリートが参加しています。



SON・富山認証式での細川理事長と山口会長(当時)

## &lt;賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2008年6月~10月)&gt;

敬称略

青木 誠之助	川端 貴美子	素谷 宏	中山 真美	水野 浩二	森田 英男
岩瀬 武	下条 竜一	武内 祐介	橋本 颯太	水野 隆芳	山崎 郁夫
鹿熊 克彦	佐伯 政雄	塚本 裕香子	早崎 安雄	宮崎 雅士	吉田 邦夫
上 卓	佐々木 啓三郎	塚本 勝宏	林 慎二	宮崎 高志	吉藤 国之
上 隆義	佐々木 陽子	塚本 須麻子	福島 亘	宮崎 環	
上 文佐乃	澤田 功	戸田 一郎	福島 朝子	宮崎 美代	
川岸 哲雄	素谷 孝子	戸田 薫	二口 悠太郎	森田 とみ系	
大谷製鉄株式会社	川田工業株式会社	北酸株式会社	北酸高圧瓦斯株式会社		
株式会社藤井産業運輸	株式会社藤井産業	富山シティーロータリークラブ			
富士ゼロックス北陸株式会社	株式会社廣貫堂	北陸コカ・コーラボトリング株式会社			

ありがとうございました。

## 賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山

(日本は、「ニッポン」としてください。)

北陸銀行本店(店番101)、普通口座 5207770

## 賛助金

<個人> 一口 3,000円

<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

ApeosPort-III C7600/C6500/C5500

インターネットとつながり  
進化する複合機

**富士ゼロックス北陸株式会社**

本社 金沢市中橋町11番18号  
TEL(076)260-0900 FAX(076)260-0901  
<http://www.fujixerox.co.jp/hrx/>